

Doc.No : NR020822

2002年8月22日

液晶製造装置の生産スペースを拡張し、受注増に対応

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のFPD機器カンパニー(社長：津田 雅也)は、液晶製造装置の受注増に対応するため、同装置の生産スペースを約30%拡張し、10月から生産を増強します。

今回の増床は、液晶や有機ELパネルなどのFPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置事業を担当する同カンパニー彦根工場に隣接するクリーンルーム設備を備えた旧シャドウマスク工場のスペース約600平方メートル、および半導体機器カンパニーが所有する滋賀・野洲工場内の半導体製造装置用生産フロア約700平方メートルを一時転用したものです。液晶製造装置の生産フロアの延べ床面積はトータルで約5,600平方メートルになります。これは、受注増に加え、現生産スペースが装置の大型化に伴って手狭になったことに対応しています。

現在、当社・FPD機器カンパニーは、第4世代(730×920mm)および第5世代(1,100×1,250mm)の大型ガラス基板に対応した装置をフル生産していますが、アジアや日本の液晶パネルメーカーの大型ガラス基板対応装置への旺盛な設備増強に迅速に応えるべく生産能力をさらにアップさせます。この増床により、この下期のFPD機器の売上高は、前期下期比で約50%の増加を見込んでいます。



現FPD製造装置工場の生産フロア
(FPD機器カンパニー 彦根工場)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目